

NOSAI いわて

No.411
2015 November

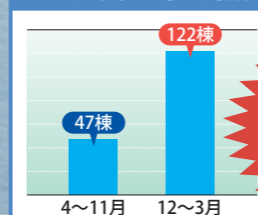
- 2 冬が来る…その前に
園芸施設共済
- 5 家畜共済に
ご加入の皆さまへ



冬が来る...その前に 入って安心 園芸施設共済



県内の冬期間と春～秋における
1カ月間の平均被害棟数(平成26年度)



冬期間(12月～3月)の被害棟数は、春～秋に比べおよそ3倍!!!

共済掛金の目安

パイプハウス(間口5.4メートル
奥行18.1メートル パイプ外径25.4
ミリ以下 被覆材一般農ビ0.1ミリ)
で加入する場合

【共済掛金の目安(パイプハウスの場合)】

パイプ 築年数	加入 するもの	共済金額 (補償金額)	共済掛金	
			2カ月加入	12カ月加入
新築	施設本体	217,000円	534円	3,205円
	本体復旧費用	—	—	—
4年以上 5年未満	施設本体	189,000円	465円	2,792円
	本体復旧費用	27,000円	37円	226円
10年以上	施設本体	148,000円	364円	2,186円
	本体復旧費用	34,000円	47円	284円
—	撤去費用	22,000円	3円	18円

- パイプハウスについては、個人ごとの過去の被害状況に応じた掛金率のため、被害の少ない方ほど低い掛金率となります。
- 共済掛金のほか、賦課金をご負担いただきます。
- 施設内農作物、附帯施設の共済掛金は、種類により異なるため、詳しくはお近くのNOSAIへお問い合わせください。

さらに補償が拡充しました!!

今年の2月から補償内容がさらに拡充されています。

1 時価ベースの補償拡充

- 耐用年数の見直し(ハウス本体・附帯施設) ※表1参照
- 最低の補償額を再建築価額の20%から50%に引き上げ

パイプハウスの場合、耐用年数は5年から10年に、補償額は10年で50%に見直され、以前と比べて高い補償が受けられるようになりました。 ※表2参照

2 農家選択による補償の追加

- 1 復旧費用を補償**
補償の対象に復旧費用が追加され、選択できるようになりました。
- 耐用年数内の施設の補償額** ↓
再建築価額の100%
- 耐用年数を過ぎた施設の補償額** ↓
再建築価額の75%

※付保割合を限度に支払います。

園芸施設共済とは

冬期間は降雪や強風により、毎年多くの園芸施設が事故に遭っています。除雪や押さえ材の点検などの対策により被害を最小限に抑えるとともに、思いがけない大きな災害に備え、NOSAIの園芸施設共済へ加入しましょう。

補償の対象

- 施設本体(骨格材と被覆材)
左記は加入者の選択によって施設本体に併せて加入できます。
- 附帯施設(冷暖房施設など)
- 施設内農作物(ホウレンソウ、トマト、リンドウなど)
- 撤去費用(倒壊した施設の取り片付け費用を補償します)
- 復旧費用(施設本体・附帯施設を復旧するための費用を補償します)

補償期間

施設内で作物を栽培するために被覆する期間に応じて、2カ月/12カ月までの加入を選択できます。

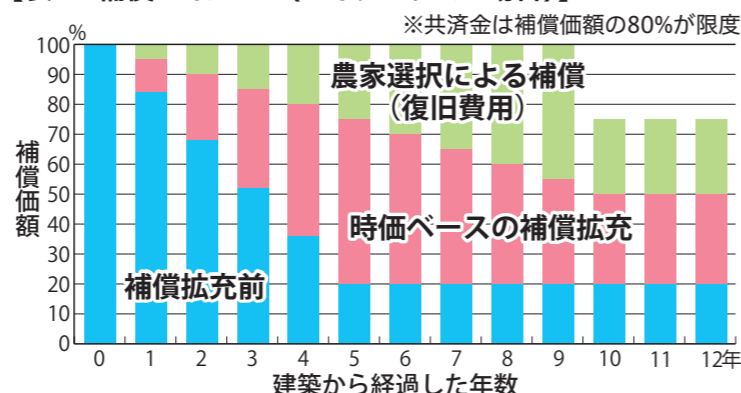
【表1 耐用年数の見直し】

ガラスI類(木骨)	10年→5年
ガラスII類(鉄骨)	15年→14年
プラスチックII類(パイプ)	5年→10年
プラスチックIII類(簡易鉄骨)	7年→14年
プラスチックIV類・V類・VI類(鉄骨)	15年→14年
附帯施設	5年→7年

2 撤去費用を補償
これまでは鉄骨ハウス等の特定の施設のみが対象でしたが、パイプハウスを含め、全ての施設で加入ができます。

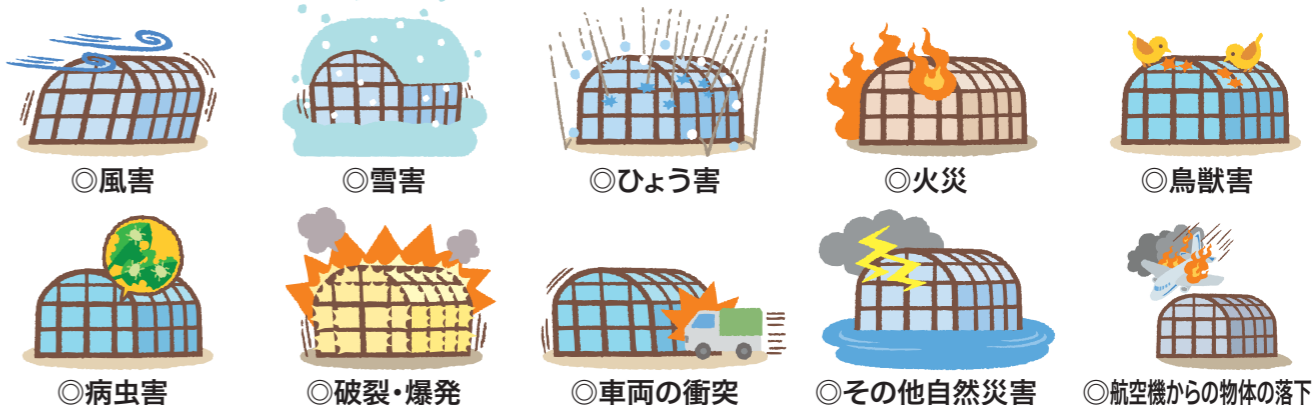
現在、拡充前の補償に加入されている場合、新しい補償へ切り替えることが出来ますので、お近くのNOSAIへお問い合わせください。

【表2 補償のイメージ(パイプハウスの場合)】



大雪で被害を受けたハウス

対象となる災害



加入者の声

大切な資産を工夫し守る

泉山春蔵さん(77)



●二戸市仁左平
●経営内容Ⅱ水稲約80ルア、
ハウス8棟(約10ルア)

園芸施設を利用して、年間を通してトマトやレタスなどの野菜類を栽培しています。冬場の大雪に備えて、ハウス内には2間の間隔で丸太の支柱を立て補強をしています。補強をすることで今まで豪風雪になっても一度も被害を受けたことはありませんが『もしも』のときのために園芸施設共済に加入しています。

加入は欠かせない

佐々木重人さん(36)



●遠野市小友町
●経営内容Ⅱハウス20棟(約43ルア) ホウレンソウを栽培

36年前に父がホウレンソウ栽培を始めたときから我が家は園芸施設共済に加入しています。職員の方に勧められて加入したのですが、加入して本当に良かったと父から聞いています。私が就農してからも、冬場の雪害や2年前の爆弾低気圧による風害で損害を受けました。何もないことが一番いいことなのですが、自然が相手なので園芸施設共済への加入は欠かせません。

家畜共済にご加入の皆さまへ

こんなときは、早めにお知らせください

- ①子牛が生まれたとき
- ②牛を譲渡(売却)・導入したとき
- ③育成牛が加入月齢(生後6か月)に達したとき
- ④病気やけがをしたとき
- ⑤家畜が死亡または廃用になったとき
- ⑥去勢や重大な手術を受けるとき
- ⑦放牧するとき
- ⑧飼養場所を変更するとき
- ⑨共済会に出品するとき
- ⑩行方不明になったとき

これらの届け出がなかった場合、共済金の減額や支払対象にならない場合があります。また、異動月日は家畜改良センター(牛個体識別情報)へ届け出る月日と必ず一致するようお願いします。

家畜の異動報告

家畜共済では、家畜の異動が直ちに共済価額の増減などに影響するため、飼養家畜に異動が生じた場合には異動記録簿や異動内容を確認できる資料を作成し、異動内容を速やかにお近くのNOSAIへご連絡ください。

また、獣医師が診療中の家畜を譲渡(特に繁殖障害で診療したことがあった牛を売却)した場合には、速やかに獣医師にご連絡ください。

牛白血病に対する取り扱いが見直し

これまでは、牛白血病は農場で診断された場合のみ共済金支払対象としておりましたが、平成27年5月1日以降に出荷して、と畜場または家畜保健衛生所で牛白血病と診断され全部廃棄となった場合も共済金支払対象となります。

なお、異動通知(と畜場または家畜保健衛生所への搬入通知)がなく、牛白血病と診断され全部廃棄となった場合は、共済金支払対象になりませんのでご注意ください。

共済金の請求手続き

と畜場または家畜保健衛生所において牛白血病と診断され全部廃棄となる場合、食肉衛生検査所が交付する書類(全部廃棄の証明書など)を届いてから3日以内(到着日を第1日目とする)に管轄の地域センターに提出してください。

《共済金の免責》

牛白血病については、次の2点に該当した場合、共済金が免責されるのでご注意ください。

- 書類が届いてから3日以内に地域センターに連絡しなかった場合 **1割免責**
- 牛白血病感染拡大防止措置*を行っていない場合 **4割免責**

※牛白血病感染拡大防止措置とは

- ①同一の注射針を複数の牛に用いないこと。
- ②直腸検査及び人工授精時に使用する直検手袋を1頭ごとに必ず交換すること。
- ③妊娠鑑定時等に用いるエコプローブをカバーで被覆して1頭ごとにそのカバーを交換すること。
- ④使用後の除角器具、去勢用具、削蹄器具、耳標・鼻環の装着器等は1頭ごとに別々の容器で、洗浄と消毒して使用すること。

獣医師、人工授精師、削蹄師等が上記の措置を行っていない場合も共済金が免責されますので、かかりつけの獣医師などに確認をお願いします。

※事故除外方式加入の場合でも牛白血病は共済金支払対象となりますのでご連絡ください。

共済金の計算方法

ビニール被害の例 【加入状況:施設本体(骨格材+被覆材)のみ】

◎加入から2カ月後、強風でビニールに総被覆面積200㎡のうち5割(100㎡)に被害を受けた場合

$$100,000 \text{円 (ビニールの補償価額)} \times \frac{100 \text{㎡ (被害面積)}}{200 \text{㎡ (総被覆面積)}} \times (100\% - 0\% \text{ 自然消耗割合}) = 50,000 \text{円 (被害額)}$$

$$50,000 \text{円 (被害額)} \times 80\% \text{ (付保割合)*1} = 40,000 \text{円 (共済金)*2}$$

※1:付保割合は加入時に40%~80%の範囲で選択できます。

※2:共済金は被害額が次のいずれか小さい額を超える場合に支払われます。

◎被害額が3万円を超える場合

◎被害額が3万円未満の場合は、施設本体(骨格材+被覆材)の補償価額の10分の1の額を超える場合

ビニール(被覆材)には、被覆時期から補償開始前までの「被覆経過割合*1」、補償開始日から事故発生日までの「自然消耗割合*2」が適用されます。

経過年数	被覆経過割合(%)*1		経過月数	自然消耗割合(%)*2	
	耐久性軟質フィルム(耐久性農PO)	一般軟質フィルム(農ビ)		耐久性軟質フィルム(耐久性農PO)	一般軟質フィルム(農ビ)
1年未満	100	100	3カ月		
1年以上2年未満	71	50	4カ月~6カ月	0	12
2年以上3年未満	50		7カ月~9カ月		25
3年以上4年未満	35	25	10カ月~12カ月	14	37
4年以上	25				

知って+得する

診療所通信

冬場の牛の管理

中部地域センター
大野千明 獣医師



一般に牛は寒さに強いといわれています。しかし子牛は低温に弱く、また乾乳牛は乳生産に伴う熱生産がないので寒さに弱いといわれます。今回は冬季に多発する呼吸器病と尿石症について紹介します。

寒さ対策

【体感温度と換気】
すきま風が直接牛の体にあたると体感温度はより低くなり、また牛床が湿っていると気化熱でさらに体温が奪われます。常に牛床を乾燥した状態にしましょう。

寒さ対策ということで牛舎を閉めきってしまうと、湿度が上ががり、通路が乾かず、アンモニアも溜り、呼吸器病が発生しやすくなります。換気にも注意し、必要に応じて日中に開放するなどの対策をとりましょう。

呼吸器対策

【換気とワクチン】

やはり、換気が重要です。呼吸器病にかかった牛の咳や呼吸の中には、高濃度のウイルスや細菌が含まれています。これが換気不足の牛舎内で増えていきます。換気をし、ほかの牛に伝染しないようにしましょう。

また、治療で使用する抗生物質は、薬剤によって効果のある細菌の種類が異なり、ウイルスには効果がありません。治りにくい呼吸器病の発生が多い場合には獣医師と相談してワクチンの接種を検討しましょう。

尿石症予防

【飲水と添加剤】

冬季は寒さとともに飲水量が減少することで尿が濃くなるため、尿路に結石が生じて尿石症が発生しやすくなります。水は新鮮なものを温めるなどして、飲水量を増やしましょう。

薬剤を応用した対策として、塩化アンモニウムや肉質に影響しない程度のビタミンAの給与を行う方法がありますが、獣医師に一度相談してください。タンパクやリンの含有量が高いエサは尿石症になりやすいので、観察しながら給与しましょう。



換気扇を設置したハウス牛舎。暖かい日には空気を入れ換えましょう

診療の依頼や相談はお近くのNOSAI家畜診療所へ【各地域センター家畜診療所連絡先】

盛岡地域センター

紫波・盛岡雫石家畜診療所
019-659-3905

北岩手家畜診療所
019-682-2661

葛巻家畜診療所
0195-66-2506

中部地域センター

0198-29-4122

胆江地域センター

0197-25-6909

磐井地域センター

西磐井家畜診療所
0191-21-5666

東磐井家畜診療所
0191-31-8400

東南部地域センター

0198-62-5322

宮古地域センター

0193-67-3656

北部地域センター

0195-41-1105

いちばん星

輝く岩手の農業人

遠野市・遠野酪農舎

入倉康彦さん



上)人気のジェラートとソフトクリーム

下)常時14種類が並ぶ

地場食材でジェラート 遠野の魅力を発信

遠野産の牛乳と四季折々の食材を生かしたジェラートを加工・販売する遠野市青笹町の入倉康彦さん(50)。酪農を営む傍ら、同市の産直施設「夢産直かみごう」内にジェラート工房「遠野酪農舎」を開設して4年目になります。素材

のほとんどが地場産で、遠野をまるごと味わえるジェラートは人気を集めています。

牛乳の有効活用を

入倉さんは、山口県出身で東京都の会社を退職し、酪農の基礎を学んだ後、2001年から遠野市で就農。現在は乳用成牛23頭、育成乳牛2頭を飼育し、年間170トの生乳を出荷しています。

04年に受講した酪農家向けの加工品セミナーをきっかけに、牛乳を効率的に活用しようと加工・販売を思い立ち、ジェラート作りを開始しました。

素材の味を生かして

ジェラートは、遠野産の牛乳と産直の組合員や近隣の農家が栽培した旬の食材を使用し、甘さを控え、素材の味を生かしているのが

特長です。30種類のレパートリーのうち、14種類が店頭に並びます。人気商品は「濃厚ミルク」や「クリームチーズと遠野ブルーベリー」で、ハスカップや栗カボチャ、リンゴなど旬の時期にしか味わうことができない季節限定の商品も好評です。

地域の活性化につなげたい

地場食材の魅力を広めようと尽力する入倉さんですが、沿岸地域との連携も考えていて「陸前高田市のユズや釜石市の甲子柿を使ったジェラートを作ってみたい」と、新商品の開発にも積極的です。

また、「もっと地場産食材を使ったジェラートを開発し、付加価値を高めていきたい。地元の家と協力し、たくさんの方の産地形成を図っていきたい」と話し、今後もジェラート作りを通して地域の魅力を発信していきます。

「夢産直かみごう」

▽営業時間 8時30分～18時
(11～3月は9時～17時)

「ジェラートを通じて遠野の魅力を広めたい」と入倉さん



たくさんのご応募ありがとうございます!

第25回NOSAI岩手 書写コンクール

今年で25回目となる当組合主催の書写コンクール(後援 岩手県、岩手県議会、岩手県教育委員会、NOSAI全国、農林漁業信用基金)が先ごろ開かれ、入賞作品が決まりました。

今年の部門別課題は、小学校1・2年生の部が「とり」、小学校3・4年生の部が「子牛」、小学校5・6年生の部が「門出」、中学校・半紙の部が「農林水産」、中学校・条幅の部が「緑豊かな自然」でした。今年には県内の小学校209校、中学校74校から、合計2820点もの力作が寄せられ、岩手県書写書道教育研究会会長・八木橋 溪雪先生、同役員・小沢 崇山先生ほか審査委員の審査により、入賞作品220点と学校賞7校が決定しました。

入賞者には各地域センターを通じて表彰状と副賞、また、応募者全員に参加賞が贈られます。

審査講評

各学校の意欲的な取り組みのおかげで、入賞作品は小・中学校ともに、堂々とした力強い作品が多く見られました。審査のポイントとしては、基本点画の正しい筆使いを中心に

字形・接筆、さらに線質なども考慮しました。今回もすばらしいと思われる作品の中に、筆脈が不自然、画数が多い、点を忘れるなどの理由から入賞を逃してしまふ作品があり、大変残念に思いました。コンクールは一年に一度しかありませんので、よく注意をして取り組んでほしいものです。

次は手本とにらめっこして、どのように書けば整った文字になるか考えましょう。その積み重ねが文字をきれいに書く自信につながります。



作品を書くときは、まず、筆・墨・硯・下敷き・紙など道具をきちんとそろえましょう。筆は書き終えたら、その日のうちに水で洗って乾かしておきましょう。

私たちの日常生活の中で文字を正しく書く機会は、パソコンなどの発達などによって、どんどん減ってきています。しかし、日本人としてひらがなや漢字の読み書きは、とても大切な伝統文化です。これからの学習の中で、ぜひ日本語の文字をしっかりと学んで将来に備えてほしいと思います。

来年もすばらしい作品に出合えることを楽しみにしています。



岩手県書写書道教育研究会会長
八木橋 溪雪 先生



岩手県書写書道教育研究会役員
小沢 崇山 先生

入賞者紹介 (敬称略)

【最優秀賞作品】

岩手県知事賞

【小学1・2年生の部】
古舘 歩奈
(岩手大学教育学部附属小2年)

【小学5・6年生の部】
吉田 佑莉亜
(盛岡白百合学園小6年)

【中学校・半紙の部】
高橋 なるみ
(滝沢市立滝沢南中3年)

【小学3・4年生の部】
高橋 亜門
(北上市立いわさき小3年)

【中学校・条幅の部】
武藤 陽
(洋野町立種市中3年)

【中学校・半紙の部】
高橋 なるみ
(滝沢市立滝沢南中3年)

【中学校・条幅の部】
武藤 陽
(洋野町立種市中3年)

【優秀賞】

岩手県議会議長賞

北館 心(北上市立和賀西小1年)
鈴木 夢麻(宮古市立藤原小4年)
遠藤 珠羽(二戸市立石切所小6年)
菊池 礼捺(花巻市立矢野中3年)
井手 百華(遠野市立遠野中3年)

岩手県教育長賞

高橋 ひな(北上市立和賀西小2年)
佐藤 希(二戸市立福岡小4年)
高村 結(盛岡白百合学園小6年)
鎌田 思(岩手大学教育学部附属中1年)
佐々木 彩乃(盛岡市立下小路中3年)

全国農業共済協会会長賞

阿部 ゆつり(関市立蔵美小2年)
石原 大翔(盛岡市立太田東小4年)
山崎 優花(宮古市立津軽石小6年)
川上 花琉(滝沢市立滝沢中2年)
大坂 萌恵(矢野町立矢野中1年)

農林漁業信用基金理事長賞

小原 彩聖(北上市立和賀西小2年)
岩越 稀星(紫波町立日詰小4年)
坂下 啓斗(洋野町種市小5年)
稲垣 花音(滝沢市立滝沢南中2年)
野崎 未来(二戸市立金田一中3年)

岩手県農業共済組合長賞

菅野 颯人(関市立滝沢小1年)
遠藤 美佑(二戸市立石切所小3年)
岡田 華奈(盛岡市立青山小6年)
太田 桜(遠野市立遠野中2年)
佐藤 泉(盛岡市立城東中2年)

学校賞(順不同)

雫石町立橋場小学校
北上市立和賀西小学校
奥州市立衣川中学校
一関市立滝沢小学校
陸前高田市立矢作小学校
岩泉町立浅内小学校
久慈市立久慈小学校

※優良賞(40点)入選(150点)の入賞者につきましては、農業共済新聞「岩手版」11月3週号(11月18日発行)、NOSAI岩手ホームページ(<http://www.nosai-iwate.net/>)で紹介する予定です。

第25回NOSAI岩手書写コンクール 作品展示のご案内

- 期間/平成28年1月7日(木)~14日(木)
- 時間/午前9時~午後6時まで
(7日は午前11時から、14日は午後3時まで)
- 場所/(株)テレビ岩手1階ギャラリー
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸2-10(盛岡市役所となり)
TEL019(624)1166
- 展示作品(入賞作品220点)
・最優秀賞...5点 ・優秀賞...25点
・優良賞...40点 ・入選...150点
- 主催/NOSAI岩手(岩手県農業共済組合)、
農業共済新聞岩手支局
- 後援/岩手県、岩手県議会、岩手県教育委員会、
NOSAI全国(全国農業共済協会)、農林漁業信用基金

3 水道代の節約術

毎回テーマを決めて、日々の暮らしの中で実践できる「節約術」を紹介します。お答えいただくのは、盛岡市の消費生活アドバイザー・横藤崇子さんです。



水の流しっぱなしに注意

水道代の節約術の基本は、「節水」です。

例えば、「水を流しっぱなしにしない」こと。顔を洗っている時、シャワーで髪や身体を洗っている時、食器を洗っている時など、たとえ数秒間でも蛇口を止めましょう。

また、風呂の残り湯を洗濯に再利用するワザはよく知られています。前回もふれましたが最近の電化製品は省エネ型になっており、洗濯機も節水型が主流になっているようですが、



横藤崇子(よこふじたかこ)
22年前から消費生活アドバイザーとして活動。専門分野は社会保障。公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会会員、岩手県生活問題研究会会員。

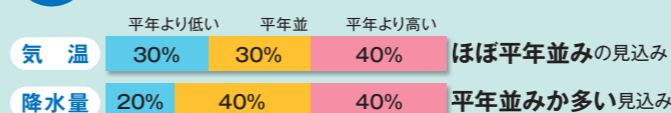
残り湯を再利用することでさらなる節水が可能。さらにトイレも、「大」「小」のレバーは使い分けることで節水につながります。

世界にも目を向けて節水を

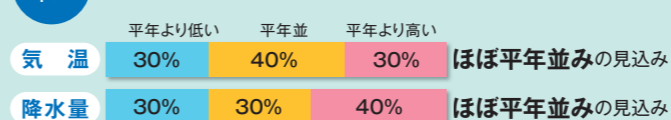
日本に住んでいるとピンとこないと思いますが、実は世界的には「水不足」と考えられています。地球上の水の96・54%が海水で、生活用水に利用しにくいいため、安全な水が手に入らない人は世界の約6分の1の11億人、不衛生な水が原因で死亡する人は年間1千万人もいるそうです。ですから水道代に関わらず、ふだんから節水や環境保護を意識した水を使わない、排水溝に油を流さない、トイレトーパーを使いすぎないなど、気を付けたいですね。

きになる天気

12月 低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。



1月 平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



参考データ(1981~2010年のデータに基づく平年値)

盛岡	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)
12月	1.0	70.8	101.6	53
1月	-1.9	53.1	116.9	85

東北地方の3ヶ月予報より：平成27年10月23日発表(盛岡地方気象台)

防災気象講演会開催のお知らせ

「火山噴火災害への備え」

- 日時：11月29日(日)13時～16時(12時30分開場)
 - 場所：姫神ホール(盛岡市玉山区渋民字鶴塚55)
 - 講演内容：「わが国の火山活動の現状と今後」「岩手県の火山災害と防災」ほか
- 火山が活発化した場合に備え、わが国の火山活動や噴火予知の現状、県内火山の特徴を知り、改めて火山噴火災害への備えを確認します。
- 入場無料・事前申込不要(先着600人)
 - お問合せ：盛岡地方気象台(019-622-7870)

寒さとともに火災事故にご注意を

岩手山の初冠雪は、本年は9月30日で平年より13日も早い冬の便りが届きました。秋も深まると、気温も下がり空気も乾燥します。風邪をひかないよう体調管理に気を付けましょう。また、火災事故も増加しますので、火の元に十分注意し、万が一に備えてNOSAIの建物共済「住まい」への加入を検討してはいかがでしょうか。

農政最前線

青年新規就農者数最多も 定着が課題に

2014年の新規就農者数は5万7650人

農林水産省は、2014年の新規就農者数は前年比13・5%増の5万7650人となったと発表した。特に49歳以下は、21・9%増の2万1860人となり、年齢別の統計を開始した07年以降、最多を更新した。同省は、青年就農給付金など関連施策の効果を強調する。ただ、青年新規就農者の約3割は、生活が不安定なことなどを理由に5年以内に離農している現状もある。新規就農の確保・定着に向け、営農・暮らし両面での継続的なサポート体制の拡充・強化が求められる。

49歳以下は、親元就農が前年比3割増

14年の就業形態別の新規就農者数は、自営就農者(親元就農)が14・8%増の4万6340人で、雇用者は1・5%増の7650人、参入者は26・2%増の3660人となった。13年は経済が向上したことなどで07年以降最少となっていたが、12年比でも2・1%上回る。特に49歳以下の伸びが大きく、自営就農が13年比31・2%増の1万3200人、雇用は2・8%増の5960人、参入者は29・3%増の2700人となった。

青年就農給付金の予算拡充へ

若い世代の新規就農を後押ししているのが、12年度に導入した青年就農給付金だ。原則45歳未満の新規就農者(自営就農を含む)を対象に、一定の要件で年間150万円(最長7年)を支援する仕組み。14年度の給付実績は1万2500人で、導入初年度から8割増強増加し、前年度比でも2割増強増えた。

地方自治体からも「新規就農が増えた」「親元就農の経営継承が進んだ」などと好評で、農林水産省は、16年度予算概算要求で同給付金に15年度当初予算比28億円増の150億円を計上。現場ニーズに配慮する予算確保を目指す。

倍増目標達成へ着実な定着につながる環境整備を

39歳以下の新規就農者数は、近年1万3〜1万5千人程度で推移してい

る。ただ、農林水産省によると、3割は5年以内に離農し、定着数は1万人程度という。政府は、持続可能で強い農業の実現に向け、23年までに49歳以下の農業従事者を40万人に拡大させる目標を掲げており、達成には、定着数を毎年2万人程度に倍増させる必要がある。

地方自治体からは、定着推進の課題に「地域関係者のバックアップ体制の構築」などが挙がる。農地の借り入れや栽培技術の習得支援など営農面のサポートとともに、地域住民や先輩農家との交流促進や生活相談窓口の設置など定着を後押しする取り組みも欠かせない。都市にない農村の魅力に引かれ、農業に関心を持つ若者は増えてきた。意欲ある若者が安心して参入し、地域の一員として定着・活躍できる環境整備に向け、若者目線からの支援の強化・拡充が求められる。

(農業共済新聞編集部)

明るく元気な女性を紹介し

北上市 藤田美咲さん(25)



「お客さまに元気になっていただきたいので、丁寧な施術を心がけています」と、すてきな笑顔で話してくれるのは、リラクゼーションスタッフとして働く藤田美咲さん。

体の凝りや疲れをとる施術はもちろん、心もリフレッシュして帰ってほしいと、笑顔の接客を心がけています。農作業の疲れを癒しに来店する農家さんも多いそうです。

「健康な体には食事が一番大切です。農家のみなさん、これからもおいしいお米や果物、新鮮な野菜を作ってください。秋はやっぱり芋の子汁ですね」と話してくれました。

美咲さんの 大好き野菜料理

- 母の作った麻婆茄子
- 芋の子汁

農業共済新聞

を読んでみませんか

農業共済新聞は、NOSAI制度や農政ニュースをわかりやすく説明するほか、最新の営農技術や全国各地の生産者の創意工夫などを紹介しています。

「岩手版」では、県内の生産者の活動など身近な話題が満載です。

例えば：

- ★新品種の紹介
- ★栽培方法
- ★農業に情熱を注ぐ生産者の思い
- ★特産品の普及にかける思い
- ★元気な農家のお母さんの日常
- ★野菜ソムリエ小原薫さんのレシピ

あなたの営農と暮らしに役立つ情報をお届けします。

「岩手版」では、ご愛読者プレゼントも実施中です。紙面にある応募券を4枚集めて、ハガキに貼って応募してください。県内特産品が抽選で7名に当たります。



大切に保管を お願いします

旧農業共済組合とのご契約等は、すべて新組合に引き継ぎます。組合員の皆さまは特別な手続きを行わなくても、組合設立と同時に新組合の組合員となります。

建物共済証券、農機具共済証券、園芸施設共済証券、家畜共済の加入証は、大切に保管してください。

共済掛金は 口座振替で

NOSAIでは現金納入にかかる事故を未然に防止するため、共済掛金等の納入について「口座振替」の利用を勧めております。

現金または振込で納入した場合、組合から加入内容等の確認の通知が届く場合がございますので、適切にご回答ください。

こんな時は 早めの連絡を

- ハウス事故、建物の物件や農機具の機種に変更や事故があったとき
- 報告が遅れますと共済金が支払いきなない場合があります。
- 名義の変更
- 経営移譲した場合、組合員が死亡した場合、住所を変更した場合は届け出が必要です。届け出の際は金融機関に登録している印鑑もご持参ください。

お世話になりました

平成27年8月31日付で1名の職員が退職しました。

■本所
高野彩子
(事業部収獲共済課)

詳細については、お近くの NOSAIへご連絡ください。



ホームページが新しくなりました

- 組合からのお知らせ
 - NOSAI事業の内容
 - 県内各地の水稲やリンゴなどの生育状況
 - 損害防止情報
 - 広報紙
 - 農業共済新聞「岩手版」記事の抜粋
- などを紹介
- 随時、更新し、最新情報を発信していきますので、ご覧ください。
- 新アドレス：<http://www.nosai-iwate.net/>



奥州市の田んぼアートも素晴らしいね!

熟しても緑色のミニトマト!?
自家産ブドウでワイン作り!?
草刈り刃の再生!?

いろいろな農家さんがいて参考になるな~



ノースイくん

農業共済新聞

- 発行：月4回(毎週水曜日)
 - 購読料：月額420円(税・送料込み)
- 購読のお申し込みは、お近くのNOSAIへ



今月の表紙

佐藤里桜ちゃん(10歳・右) 陽向くん(6歳・左)
果歩ちゃん(4歳・中)

奥州市衣川区 佐藤一義(かずよし)さん、奈津子(なつこ)さんのお子さん

ご両親が「いろんなことにチャレンジして欲しい」と願う仲良しきょうだい。里桜ちゃんはピアノにバドミントン(なんと東北大会でベスト8!), 陽向くんもバドミントン、果歩ちゃんはマラソンに歌と一生懸命です。好きな食べ物を陽向くんは「からあげ!」と元気いっぱい答え、里桜ちゃんと果歩ちゃんは「トマト!」と教えてくれました。とくにおじいちゃんの畑でおいしく育ったトマトが大のお気に入りだそう。今日はそのおじいちゃんの畑で3人力を合わせて野菜をいっぱい収穫しました。

NOSAIクイズ

問題 Question

園芸施設共済：パイプハウスの最低の補償価額は再建築価額の20%から何%に引き上げになったでしょうか。(ヒント：3ページ参照)

①50% ②60% ③70%

応募方法

- 応募方法 ハガキに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で10名に図書カードをプレゼントします。当選者は次号で発表します。
- 応募締切 平成27年12月15日(当日消印有効)
- 応募先 〒020-0857 盛岡市北飯岡1丁目10-50 NOSAIいわて「クイズ」係

記入

- ①答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
 - ⑥NOSAIや広報紙への意見・感想・質問などご自由にお書きください。(氏名を省略し本紙に掲載させていただく場合がございます)
- ※応募によって得られた個人情報、賞品の発送と広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

【9月号の答え】②50%でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

【9月号の当選者】菅原妙子さん(紫波町)、伊藤ハル工さん(八幡平市)、中島滋さん(花巻市)、千田久江さん(奥州市)、菊池徳夫さん(一関市)、阿部さなえさん(遠野市)、水野二三子さん(住田町)、吉田美津代さん(宮古市)、中下義夫さん(洋野町)、茶屋場清さん(一戸町)

NOSAIいわて おたより 広場

クイズと一緒に寄せられた
ご意見・ご感想の一部を
紹介します。

- 【雫石町 Uさん】
*びっくりカボチャの意外な食べ方にびっくり!たいていのカボチャは果実を食べるのに、このカボチャは種を食べること。びっくりカボチャにビックリしました。
- 【北上市 Oさん】
*先日までの真夏日はどこへやら。朝晩寒くなり、体調管理に気をつけて農作業に励みたいです。
- 【奥州市 Eさん】
*収穫の秋です。農家はこれが楽しみ!1年の苦労がむくわれるから。
- 【奥州市 Tさん】
*陸前高田市の「ゆず」。岩手でもゆずが育つんですね。ゆずが大好きな私。ぜひ北限のゆずを食べてみたいと思いました。
- 【奥州市 Tさん】
*稲の収穫が、ダラダラ雨で遅れてしまいました。品質の低下がとて心配されます。
- 【平泉町 Kさん】
*消費税も国民の義務と思い、楽しい節約を参考に「ちりもつもれば」と笑って実行。
- 【遠野市 Sさん】
*「わが家のかまど」のミニトマトの冷やしラーメン、家に材料があって早速作ってみました。コロナと切った野菜の歯ざわりもとても小気味よく、暑い夏にピッタリでした。
- 【二戸市 Sさん】



ひとてまかけて 健康レシピ
わが家のかまど

りんご酢豚風

リンゴと豚肉で疲労回復

材料(2人分)

・リンゴ	1個
・豚肉	160g
・タマネギ	1/2個
・ピーマン	1個
・ショウガ	1片
・小ネギ	3本
・酒・しょうゆ	各大さじ1
・砂糖・片栗粉	各小さじ1
・油	大さじ1

作り方

- ①リンゴは皮付きのまま、半分は5mm程度の薄切りに、もう半分はすりおろす。
 - ②ショウガもすりおろし、すったリンゴ、酒、しょうゆ、砂糖、片栗粉を混ぜておく。
 - ③豚肉は一口大に、タマネギはくし切り、ピーマンは乱切り、小ネギは小口切りにする。
 - ④フライパンを温め、油を入れてタマネギとピーマンを炒め、豚肉とリンゴの薄切りも加えてさらに炒める。リンゴが透き通ってきたら②のタレを加えて、とろみがついたら皿に盛り、小ネギを散らす。
- お酢の代わりにリンゴの優しい酸味で召し上がれ。

ひと手間ポイント

よく出番のある炒め物。焦げるのを心配して火を弱めてしまいがちですが、高温で一気に仕上げます。そのためには調味料を合わせておくのも大事なひと手間です。

出来上がったらフライパンに入れたままは禁物。余熱でせつかくの食感が悪くならないよう、家族の顔がそうつら作り始める料理です。



リンゴ



皮の際にこそ栄養があるといわれるリンゴ。きれいな赤い色もご馳走ですから皮ごと使います。リンゴ酸と豚肉のビタミンB1の組み合わせで、疲労を回復して明日に備えましょう。



シニア野菜ソムリエ
小原 薫
(おはら かおる)

盛岡市生まれ。IBCラジオ「野菜の気持ち」のパーソナリティーを務め、各地で料理指導やレストランのレシピ開発、食に関する講演会も行う。農業共済新聞「岩手版」でレシピ連載中。

盛岡地域センター

〒020-0053 盛岡市上太田細田28-8
TEL:019-659-3905

●盛岡・紫波支所
〒028-3605 矢巾町大字間野々3-160
TEL:019-697-3109

●北岩手支所
〒028-4125 盛岡市玉山区好摩字上山3-38
TEL:019-682-2661

中部地域センター

〒025-0025 花巻市下根子821
フリーダイヤル 0120-28-5201

●西和賀出張所
〒029-5503 西和賀町清水ヶ野18-203
TEL:0197-84-2133

胆江地域センター

〒023-0023 奥州市水沢区字八反町52-1
TEL:0197-25-6631

磐井地域センター

〒029-0132 一関市滝沢字矢ノ目沢65-60
TEL:0191-23-3072

東南部地域センター

〒028-0542 遠野市早瀬町2-4-13
TEL:0198-62-2556

●気仙支所
〒022-0006 大船渡市立根町字岩脇1-3
TEL:0192-27-5521

●釜石出張所
〒026-0301 釜石市鶴住居町10-30-1
(旧釜石北高校跡地仮設事務所)
TEL:090-4634-5557

宮古地域センター

〒027-0203 宮古市津軽石13-488-1
TEL:0193-67-2231

●下閉伊北部出張所
〒027-0501 岩泉町岩泉字天間17-1
TEL:0194-22-2643

北部地域センター

〒028-6506 九戸村大字山屋2-25-1
TEL:0195-41-1101

